

ふるさと 通信員だより

vol.226

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域の話を紹介しします。なお、町では通信員を募集しています（活動はボランティアでお願いしています）。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係（内線216）にご連絡ください。



音更町で密かな人気の「ボッチャ」を毎回楽しんでいるのは、地域交流サロン「いきいきサロン」の参加者21人の皆さんです。ヨーロッパ生まれのボッチャは、障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目。赤組、青組に分かれ目標球の白いボール（ジャックボール）を指して近づけたり転がしたり、投げたりして競い合う競技です。「ヤッター!」「それー!」と熱戦を繰り広げて、拍手や笑い声が会場に響きます。細かいルールは気にせず老若男女問わず、気軽に楽しめるスポーツとして人気が出ています。



たかだ てつこ
高田徹子 通信員

人気の「ボッチャ」
到来!



十勝鈴蘭バドミントン少年団（山本学監督・団員10名）は、週4回練習をしています。現在は鈴蘭小、下音更小、木野東小の3校の児童が所属しています。団長の松浦陽太さん（下音更小5年）は、遊びでお父さんとバドミントンをしているうちに興味を持ちました。そして本格的にやってみたくて思い入団しました。松浦さんは、面白いと思う技や好きな技があるそうです。少年団では、バドミントンに興味のある仲間をたくさん募集したいので、練習の見学も行っています。



いしだ ひさよ
石田尚世 通信員

バドミントン少年団